

難民への日本語教育を俯瞰する

多文化共生社会日本への「理解を深める講座」

【各団体（個人）からの実践の報告】

- 難民事業本部（RHQ） 難民認定者に対する公的支援としての日本語教育
- さぼうと 2 1 定住難民の生活力向上を目指した日本語教育
- 難民支援協会（JAR） 就労支援の一環としての日本語教育
- 伴野崇生さん 個人として関わる 就労・生活のための日本語教育
- カトリック東京国際センター（CTIC） 難民の居場所としての日本語教室
- PEACE 難民当事者が主催する日本語教室
- 日本国際社会事業団（ISSJ）
社会統合促進のためのムスリム系難民に対する日本語教育

【登壇者によるパネルディスカッション】

テーマ 「難民に対する日本語教育のこれから」
ファシリテーター 松尾 慎さん

日本に定住する難民にとって、日本語習得は「教育を受けるため」「仕事をするため」「地域社会の一員として生活するため」に欠かせない要素です。現在、日本国内で行われている難民に対する日本語教育を俯瞰し、現状を改めて確認することから、今後の難民に対する日本語教育のあり方について考えていきたいと思います。

■日時：2017年12月17日（日）13時～16時30分

■会場：社会福祉法人さぼうと21 6階会議室

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

JR 山手線「目黒駅」東口より徒歩 3 分、東急目黒線・三田線・南北線「目黒駅」正面口より徒歩 5 分

■対象：地域日本語教室や難民への日本語教育に関心のある方

■申込：以下メールフォームでお申込みください。

<https://goo.gl/forms/J4AFk6kFttejBsSL2>

* メール、お電話でのご連絡でもけっこうです。

* 申し込み期限は 12月15日（金）とさせていただきますが
席数に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

* 当日の写真撮影、録音は固くお断りいたします。



主催：社会福祉法人 さぼうと 2 1

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さぼうと 2 1 は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。